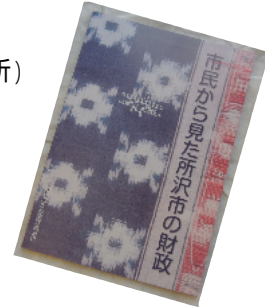


市民ネットワーク所沢からのお知らせ

『市民から見た所沢市の財政』ができました！

御披露目 & 記念講演会 「市民が財政を学ぶ意義」
 日時: 11月25日(火)10時～12時
 会場: 新所沢公民館第3学習室
 講師: 大和田一統理事長(多摩住民自治研究所)



本は一冊 1000円
 ・市役所福祉の店ポピンズ
 ・小手指駅南口 菊屋書店
 ・緑町 八百屋ごんべえ
 ・狭山市 カフェ Wans で取り扱っています。



市民ネットワーク事務所
 開放日

11/25(火) お休みします
 12/25(木) 13時～
 お茶飲み & 年忘れ会
 どなたでも大歓迎です!!

折り紙

息子の所で2子目のお産があり何度か手伝いに行った折、上の孫から折り紙を一緒にやろうとせがまれ最初はいやいや折っていた。むずかしくて頭は使う、指先は使う、折り紙にペンで顔を入れたり模様を入れたりすることがあり絵心も必要で、なかなか奥が深い。

孫は5歳だというのに本やパソコンを見て簡単に折ってしまうので「君は天才だね」と褒めてあげると、折り目をきちんと付けてと何回注意しても聞いてくれない。それより箱いっぱい作品が溜まって行くのを楽しんでいるようだ。

孫のお陰で今では折り紙にすっかりはまっている私。孫が訪ねて来る前は何を折って驚かせようか

とパソコンを検索。先日はテレビアニメで多くの子ども達が大好きな妖怪ウオッチのジバニャン、フユニャンを折って渡したら相当ビックリして喜んでくれて、ヤッター！と嬉しい思いをした。コマじろうとコマさんも作ったから、早く風邪を治してまた来てね。

春は雛祭り、五月の節句、夏はあじさい・朝顔の花・七夕、秋はもみじ・柿・お月見・ハロウィン、冬はクリスマス、お正月等の季節の折り紙を折って飾って、少しずつ腕を上げながら楽しんでいる。脳トレにもすごく良いと思うので。

市民ネットワーク所沢 代表 渡辺恭子

【お問い合わせ・連絡先】

常駐していません。留守電・FAXをお願いします。

住所 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B

電話・FAX 04-2947-6370

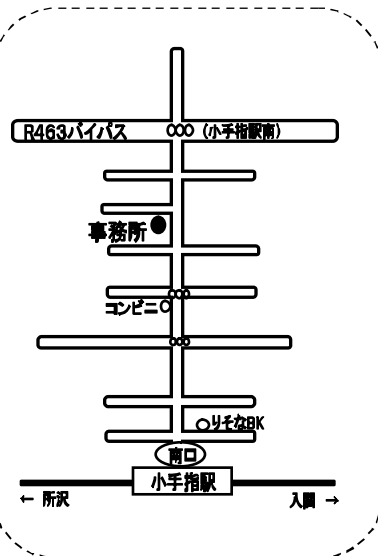
メール prinmint@shore.ocn.ne.jp(末吉)
 cnet-toko@net.email.ne.jp(事務所)

ネットの仲間になって一緒に活動しませんか。

年会費 1,500円 郵便振替口座 00160-6-179015

この「つうしん」はボランティアの方が配布しています。

購読ご希望の方は定期的に郵送します。どうぞご連絡下さい。



市民ネットワーク <http://tokorozawa-net.cool.ne.jp/>

NO.70 (2014.11)



発行: 市民ネットワーク所沢

〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル 1F-B

TEL/FAX 04-2947-6370 メール: cnet-toko@net.email.ne.jp



末吉美帆子の9月議会報告

所沢市議会議員 (教育福祉常任委員、埼玉西部消防組合議員、広聴広報委員長、基地対策協議会委員)



放課後児童クラブついに改善!

「放課後児童クラブ」は保護者が働いている小学生の放課後の安全を守り、健やかに育む重要な事業です。

市立児童館を活用する「児童館生活クラブ」が12ヶ所、学校内または近隣に設置する「児童クラブ」が31ヶ所あります。1ヶ月の保育料は生活クラブ6000円、児童クラブ11000円～16600円と事業者によりバラバラで、最大年間13万円近い格差があり不公平感が募っていました。

9月議会で可決された条例で、児童クラブを公の施設と規定し保育料を「月額1万円」と統一しました。算定の根拠は総事業費(障害児加配分を除く)を受益者5:市負担5で割ったものです。児童クラブ保護者が全て負担減になります。生活クラブには来年8000円の経過措置が取られます。預かり時間も統一され、どの学区であっても同じ条件になります。

この児童クラブ改革は6年前から一般質問などで追及し、ネットの選挙公約にもしたものです。思いを受け止め改善してくれたことも未来部の努力を評価したいと思います。

これからの課題は住宅開発が進む地区で児童が増えニーズが急増していることへの対応が緊急に必要です。

中富小学校児童クラブが4月から新規開設されます。所沢市で初の校舎内クラブで3年間は試験的に市直営で運営しますが、成果を出し各学区へ波及するよう見守りたいと思います。

3年後、事業者が指定管理制度で選考されます。子ども達の安全が守られるようモニタリングと事業者への指導支援が重要です。

定例議会は11/26からです。「小中学校防音校舎へのエアコン設置に関わる住民投票条例」が提案される予定です。議会は広く公開されています。傍聴及びインターネット中継で是非ご覧下さい。

末吉美帆子 平成 26 年 9 月議会 一般質問



「生活保護のリアル」について

所沢市の受給世帯は、平成 21 年～25 年で 2430 2870 3213 3375 3430 世帯と推移しています。(内訳は高齢者 40% 母子 8.3% 障害者 11% 傷病者 19% その他 21%) 25 年の就労支援は 752 人で、自立し廃止したのが 44 人。生活保護扶助費は 78 億円(25 年度)



「民生費、特に生活保護費が増えて財政を圧迫している」と報道されますが、3/4 が国庫補助金で市負担は約 20 億円(25 年度一般会計予算総額は 915 億円)

生活保護の増加はリーマンショック以降の景気低迷、非正規雇用などの社会的要因が影を落としています。安定雇用政策を国に求めるとともに、就労支援、自立支援を進め社会全体で支え合っていきましょう。

「若者支援」について

Q. 中学校卒業後、青少年の相談体制は？
居場所づくり、学習支援は？



A. 青少年の相談は青少年課で受け、適切な機関を紹介する。8 月に「子ども若者支援ガイド」を作成。青少年の居場所は児童館を考えており、中高生の利用が増えている。やなぎ児童館では勉強スペースを設けた。今後、児童館で中高生が活躍できる場も作りたい。

埼玉県市民ネットワークは 10/25 に臨時総会を行いました。

- 新しい代理人を擁立して交代するために必要だと地域ネットが判断した場合 3 期まで可能とする
- 県ネット会員に準備ネットを追加する
- 以上 2 点の規約変更が承認されました。

「文化センターミュージ」について

Q. 建設後 20 年を過ぎた文化センターミュージの大規模改修時期とバリアフリー化については？

A. ミューズの改修については 25 年度に調査した。今後方針を定めるが、大規模改修時にバリアフリー化も行いたい。



総額 361 億円をかけたミュージは借金の償還も完了し文化の発信地でもあります。実はバリアだらけ。大規模改修時に高齢者、障害者、誰もが使い易い改善を願います。

その他の一般質問

- * 「文化財収蔵庫設置、市民学芸員支援、文化財巡回展、野老澤町造り商店への支援」について
- * 「8 月の台風時の対応、災害対策本部での迅速な対応、大雪・火山噴火の灰対策」について
- * 「犬猫の多頭飼育」について
- * 「小手指陸橋北交差点の安全」について



昨年 4 月に発足した埼玉西部消防局の 25 年度決算が 8/5、組合議会で認定されました。5 市負担金 90 億 7 千万円のうち所沢市は 37 億 5 千万円を拠出しています。

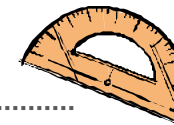
決算額は 89 億 9 千万円で、剰余金は負担割合に合わせ構成市に返還される予定です。消防・救急が広域化し入間、狭山など市境の機動力が増しましたが市から離れたことで現場が見えづらくなりがちです。

消防組合は 5 市の議員 16 名で構成しています。7 月には仙台市、東松島市を視察し災害対策を学びました。一般質問では、私も災害時受援体制や女性登用、長期計画などを質疑しました。ホームページで議事録が見られます。けやき台の消防本部で行われる次回の消防議会は 27 年 2/13 予定です。是非傍聴にもおいで下さい。

末吉美帆子

報告

方向を「1 度」変えることが
新しい未来につながる



「市民自治講座第 7 期」で、井手英策氏(慶應義塾大学経済学部教授)のお話を聞いてきました。井手氏のお話は、とてもパワフル! 目からウロコの雨、雨、雨... の 3 日間でした。

今回の講座のテーマは、「税制・財政と公共サービス」。少子高齢化にともなう歳入の減少と社会保障費の増加は、日本の将来に暗い影ばかり落としているように感じます。政策はどうしても歳出削減の方向になっていますが、それではどうにも元気が出ません。

井手氏の主張は、「普遍主義」。所得や性別、年齢で受給者を区別せず、全員にサービスを提供する方法です。それに対して、現在の日本は受益者を特定する「選別主義」です。選別主義はたとえば生活保護費受給者に対する厳しい見方のように、給付の対象となる人とそうでない人の間に溝をつくってしまいます。

「普遍主義」は、給付水準が高くなるため、当然税の負担は大きくなります。このあたりは市民にとっては不安な部分ですが、どんな人でも、生きるために必要なサービスを負担なく受けられるとしたら、それはどんなに安心できる社会でしょうか。

経済成長を頼みとする政策が、人間を本当に幸福にするのか、疑問が残るところです。今、社会を 180 度変えることができなくても、ほんの「1 度」変えていくことが、将来大きな変化となって現れるかもしれないという井手氏の言葉に、元気をもらってきました。(彩華)

『市民から見た所沢市の財政』の本、おいしくできました!!

わたしたちが納めた税金の使われ方を知ることは、とても大事なことはわかっている。でもなんとなく後回しにと敬遠したかった財政の学習である。

一番身近な市の財政のことを、この 1 年半かけて 結構いい年のおじさんとおばさん 15 人の仲間で、わいわいがやがや、時には熱く議論しながらやってきました。未知のことを知っていく楽しさと、その先をもっと知りたいという欲求に押されつつ、進んできました。少しわかったつもり。でもまだまだいくらでも奥が深くなる。もっと突き詰めてからという意見があったものの、今のままでいいからこれまでの成果を、一冊にまとめて発表しようという目標があって、ついに、「市民から見た所沢市の財政」として、10 月 27 日発行にこぎつけました。

表紙は、明治、大正時代に所沢で盛んに織られていたという、素朴な色合いの「所沢飛白」の模様です。25 年間の変化を数字で追ったり表にしたり、他市と比較して、いろいろ発見したり驚いたりしました。

所沢の歴史や文化を知り、市の財政を知るうち、自分の住んでいる所沢は案外いいところ住みやすい街と認識でき、一層好きになった事は、個人的なご褒美になりました。ともかくご賞味いただいて、感想など話し合えたら幸いです。(大輪絹子)